

ASA

ずうぼらだよい

第118号

2025年 10月20日



マルミミゾウの赤ちゃん名前は「アオ」

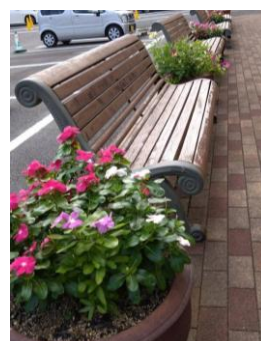
10月25日（土）赤ちゃんの愛称の命名式が行われ「アオ」に決まりました。「夏の青い空のようにすくすくと元気に育ってほしい」という願いが込められています。



マリーゴールドとニチニチソウ

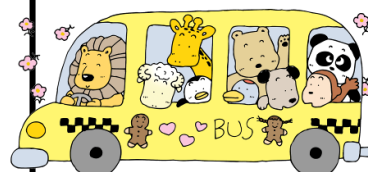
（エントランス）

猛暑の夏を乗り越え、今マリーゴールドが園内のあちこちで満開です。急に寒くなり色も深くなって秋を感じさせてくれています。



118号もくじ

- ・ みんなでガイドレポート 9月 2～4
- ・ 10月の連絡会 報告 4・5
- ・ 研修報告「安佐動物公園とマルミミゾウ
導入～出産まで」 6～8
- ・ みんなでガイドレポート 10月 9～10
- ・ お知らせ ボランティアのみなさんへ 10～11
- ・ 11・12月の予定 ひつじ村から 11
- ・ 作業グループ活動報告 12～13
- ・ 動物園ニュース 14
- ・ 予定表（11・12月） 15・16





9月スポットガイド報告



みんなでガイド①

- ・開催日：9月7日（日）10:00～12:00
- ・天 候：晴れ
- ・解説動物：シフゾウ：西園入口（O）、カワウソ：西園入口（T） スイギュウ（K）、チンパンジー・ゾウ（I）、キリン（H）、クロサイ（A）、ゾウ・ペンギン（S）、記録（T）



お客さんが少ない。ハルカ（母）20才。よく動いていた。エサが置いてあったので、見せながらガイドをしました。



西園入口でガイド。角を持っていくのを忘れたのが残念。写真でガイドをしました。閉鎖中でも何かサポートできれば…。通りかかった飼育担当さんから情報をもらった。



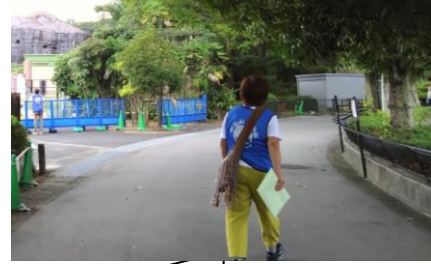
ニコとサキ両頭がいたことを知っている人には、なぜ今ニコだけなの、今後ここがどうなるのかを話した。ニコは走ったり、おしっこ5回したり活動的。



朝いちでチンパンジーのところで個体識別にチャレンジ。日陰が無く暑いのでゾウの所に移動。タカもダイもメイが出てくると気にしている。



運動場の柵が撤去され雌3頭が移動したり帰ったり。だんだん慣れて広い方にも行くようになっている。赤ちゃん連れ親子にハグミの話をした。



ゾウ⇒ペンギンと移動。市川飼育担当と話をして情報をもらった。青いビブスを着て立っているといろいろ聞かれる。

（記録：T）

みんなでガイド②

- ・開催日：9月21日（日）10:00～11:00
- ・天 候：晴れ
- ・解説動物：クロサイ（M）、キリン（H・S）、スイギュウ（K）、ペンギン（S）
ポニー（T）、ラクダ（Y）、シフゾウ：西園入口（O）、（記録S）
- ・同日開催 『世界サイの日』…AM11:00～飼育係による特別解説

秋近しと思わせるような爽やかな風が吹いています。9月17日（水）からマルミミゾウの親子の一般公開が始まりました。（＊公開は毎日13:30～14:30）

今日はクロサイの特別解説も11時からありました。開園後、あっという間に第1駐車場は満車になりました。マルミミゾウの観覧の行列を整理するために、ゾウガメ舎辺りまで白線が引かれています。



マルミミゾウの赤ちゃんが生まれて1か月半、愛称の募集、垂れ幕の設置、そして親子の一般公開の始まり等々、動物園はワクワクの空気が流れています。来園者も増えています。



キリン（笹口）…お客さんが多いけど、「ゾウの赤ちゃんは見れないですか？」とよく聞かれた。ゾウの名前の紹介をした。（足の骨は常に持参して）

（原）…エサが枝だけになってしまっていた。なので写真のガイドパネルで紹介したらよく分かってもらえた。

ペンギン（斉藤）…抜けた羽を集めたものを触ってもらった。興味津々。食後のんびり昼寝をしていた。

ポニー（富田）…常連の小学生の男の子。「今ここにいない子にも乗ったことがある。ハルミにも乗ったし。ブラッシングもしたことがある。何回も来たことがある。」

ラクダ（山村）…頭骨、毛皮に触ってもらった。（頭骨は30年前に安佐動物園で亡くなったジュンのもの）子「あったか〜い。冬に掛けたらあったかいかも？」



シフゾウ（大倉）…お客「角が抜ける時痛くないの?」「ゾウですか?」解説を聞きながら、抜けた角を持ち上げて皆さん2度ビックリ。タンチョウの鳴き声も聞こえてきます。

スイギュウ（北谷）…長寿のハルカ（20歳）の話をした。今日はハルカと娘のコサック（6歳）の折り合いが悪いと話したらぶっと笑われました。（コサックはしたの溝に降りてもぐもぐ。）

クロサイ（南方）…特別解説の日だからか、サイのことをよく知っている人もきておられた。ニコは枝を食べたり、端っこに移動したりしたので、話すことがいろいろあった。

（記録：S）



【特別解説より】

クロサイのくちびるは三角にとがっていて、草や枝をたぐりよせて食べている。シロサイは四角いシャベルみたいな口。動物園では一日に、木の葉、干し草、ペレット、食パン、さつま芋、リンゴなどを40kg～50kg 食べます。角は人間の爪や髪の毛と同じ様にずっと伸び続けます。皆さんが、お風呂上りに爪が柔らかくなるように、クロサイは、雨の日に岩や柵で角をゴシゴシ削っています。1960年代にはたくさんいたサイですが、角が漢方薬の材料や飾りとして東南アジアに輸出されるため、今では絶滅危惧種に指定されています。

クロサイ舎を建て替えるため、お母さんのサキは先に別の所に移動しています。サキは、とてもおとなしいサイですが、異動のケージに入れた時に大暴れしてしまいました。ニコも続けて移動するつもりでしたが、少し遅らせて、11月に移動予定です。今はお母さんから離れて一人であることに慣れてきました。

ニコは、体重が1,300kg～1,500kg あります。いざ興奮して走り出すと、それを止める術はありません。朝、草を10kg 与えて、夕方、自分の部屋に帰ってから20kg～30kg の餌を与えています。でも、お腹が空いていても6月位からなかなか部屋に入ってくれなくなりました。夜9時まで帰らないこともありました。けっこう頑固です。お腹が空いても、出ない、入らない時もあります。ひたすら飼育係は待つのみです。

(記録：S)



10月の連絡会報告



開催日：10月5日(日) 10:00～11:30

参加者：O、Y、T、M、N、H、A、D、T、N、N、I、M、H、T、K、D、C、O、T

(動物園から梅田さん)

O. 動物園から

(動物に関する出来事)

- 8/5 マルミミゾウのメイ、無事出産 子育てをしている。
- 9/17 親子の一般公開(13:30～14:30) 始まる
- 9/22 ソウ舎に赤ちゃん用の体重計設置 500g～1kg/1日 増えている。
- 8/24 ブラックバックの出産 7頭?

レオガラスでのお食事タイム当面中止

けやき道(県道沿い園路) 一部開放

※ 西園閉鎖継続中 再開の目処が立たず。

【ボランティアの皆さんへのお願い】

- 缶バッジやイベント参加券を先着で配ることがありますが、これは入園者用のものなので、缶バッジやイベント参加をご希望の方は、ボランティア活動ではなく、通常の入園者としてご入園した上でお取りください。
- 当日缶バッジを配布する派生イベント(世界●●の日解説など)のお手伝いのため、止む無く

缶バッジをもらうことができない方は、事前に企画広報係にご相談ください。

- ・ボランティア活動中や、当園でのアルバイト中に、一般の方が知りえない動物公園の情報を知ることがあるかもしれません。動物の繁殖や死亡、来園やその他重要な事は当園で情報を確認し、対応を検討した上で広報しますので、それまでご家族やご友人、知り合いなどへ口外しないようお願いいたします。また、バックヤードを写した画像や映像をSNSに投稿することもお止めください（許可された場合を除く）。
- ・ボランティア活動中や当園でのアルバイト中に、当園職員のプライベートに関することが耳に入るかもしれません。そういった職員のプライバシーに関する事を、部外者や親しい常連客などへ口外することもお止めください。

1. ナイトガイド 反省・報告

- ・展示ブース・・・頭骨と毛皮の展示を行い、たくさんのお客さんがきてくれた。
 - ・小獣・・・ハクビシン以外はエサを食べた後で動いてくれなかった。照明が暗すぎて展示したものが見えにくかった。でもお客さんはいっぱいだった。
 - ・キリン・・・昼よりもお客さんの反応がよく、話の内容は昼と同じなのに夜の方がうけた。キリンの動きもよかった。ナイトならではの行動をしてくれた。暗すぎて持って行っていた資料がみえなかった。
 - ・サイ・・・ニコちゃんが夕方に動き回っていた。飼育舎に隠れる時もあったがよく出て来てくれた。サイは薄明薄暮なので良く動く。サイのところもお客さんが多く、どんどん流れていくかんじだった。暗いので見せる物なしでガイドをした。
 - ・アヌビスヒヒ・・・頭骨とエサを説明した。入口なのでお客さんは流れるように来てくれた。エサを持っていたのをアヌビスヒヒが気づき、10頭ぐらい集まってきてくれたのでガイドしやすかった。集まって来たのは全て雄で無言の圧がすごかった。19時過ぎぐらいに暗くなった。
- ※ナイト全体として園内が去年より全体的に暗かった。アンケートでも「暗かった」という意見が多く、一番の反省点で来年の課題になった。（梅田さんより）

2. 今後の予定

① ツアーガイド 11月16日(日)

今回は「ピーちくパークツアーガイド」①ポニー ②ヤギ・ヒツジ ③ペンギン

内容・・・Aグループ(定員15名) 10:00~10:30

Bグループ(店員15名) 10:30~11:00

9:30からピーちくパーク入口で参加券を配る

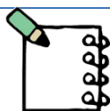
呼び込み2~3人、受付2人、引率2x2人、ゴール(答え合わせ、お土産渡し)2~3人

② 忘年会 12月21日(日)に決まりました。是非ご参加ください。(詳細は別紙おしらせ)

③ 園外研修 12月14日(日)に決まりました。宮島水族館見学(バックヤード見学も)

昼食、渡り鳥など野鳥観察(茶村さんレクチャー)(詳細は別紙おしらせ)

11月、12月は盛りだくさんですが、それぞれしっかり準備して実施しますので、是非一緒に楽しみましょう。参加をよろしくお願いいたします。(記録:T・T)



2001年 5月13日

ブルキナファソで保護されていた推定2才のマルミミゾウ 3頭が日本に来た。

メス1頭(メイ)は安佐動物公園へ、オス1頭(ダイ)とメス1頭(ミミ)は秋吉台サファリランドへ。

2001年 5月17日

メイのトレーニングが始まる。

2001年 8月18日

アフリカゾウ舎で一般公開開始。

2001年 10月8日

名称が「メイ」に決まる。名前の由来は 5月の May からきている。

2001年8月18日

・アフリカゾウ舎で一般公開開始



報道公開の様子

2008年 5月

遺伝子分析の結果メイがマルミミゾウと判明。

他動物園の検査結果でもダイとミミもマルミミゾウと判明し、旭山動物園にもマルミミゾウがいた。

逆に徳山動物園にいたゾウはマルミミゾウではなかったということも判明している。

2013年 3月18日

秋吉台サファリランドにいたミミが死亡し、国内のマルミミゾウはダイとメイだけになった。

2001年以降、海外からのアフリカからのゾウの搬入はない。

2016年

マルミミゾウ繁殖のためダイが安佐動物公園へ移動することが決定。

ダイの移動へ向けたトレーニングが始まる。

2022年 6月

ダイ来園。

メイとダイのペアリング開始。

いきなり触れ合うことはせず、2重柵にして直接触れ合わない状態から行った。

反応は良好。メイはダイのところへ行き思わせぶりの態度をとったりして相性はよかった。

体格差があり、この時ダイは約4.8t、メイは約2.4t、倍近くあった。

2022年11月

マルミミゾウ展示場で初同居させる。

発情に合わせて3ヵ月に1回周期で1～2週間ぐらい。

ダイはマウントがわからないのかなかうまく乗れなかった。

2023年6月1日

初マウントを確認。

2023年12月8、9日

初交尾を確認。

それ以降マウントや交尾は見られず、メイがダイに興味を示さなくなった。

この時点で妊娠したかもしれないと思ったが、ゾウは妊娠が難しく、交尾を確認しても妊娠しないことが多い。

2024年6月12日

超音波検査(エコー検査)の機械を新しく導入。

新しいエコー検査の機械にビビらないように段ボールなどを被せて、
馴致トレーニングを開始。



エコーの馴致に使用したダミー

2024年8月14日

2回目のエコー検査でメイの体内で子宮内で液体が動いているような映像を確認。

妊娠確定診断後、広報で発表する。



2024年11月26日～

クラウドファンディングで資金を集め第一目標金額の900万円を大幅に超え、
3000万円以上の支援を集めることができた。

2025年8月5日

出産徴候が見られたら24時間体勢で監視する予定だった。

ホルモン数値に変動もなく、前日は全く出産兆候もなかったので出産はまだ先だと思っていた。

しかし、早朝4時55分に無事赤ちゃんが産まれる。

産んだ直後はメイも戸惑っていたが、赤ちゃんに対しての攻撃性もなく、鼻で押したりして、気にしている様子だった。

赤ちゃんは産まれて5分ぐらいで動き出し、30分ぐらいで立ち上がった。

出産直後メイはしばらく赤ちゃんに対してどうしていいかわからない様子だったが、朝9時の時点で飼育担当者が来たときには赤ちゃんはメイの下にいて赤ちゃんを守るように立っていた。



出産後、メイも赤ちゃんも元気だったが、赤ちゃんの口がお乳まで届かずミルクが飲めなかったのであらかじめ用意しておいたメイの血漿を飲ませた。(初乳が飲めなくても血漿には免疫グロブリンが含まれており、赤ちゃんを感染症から守ることができる。)それからしばらくエレファントミルクとウシ用のミルクを混ぜた人工ミルクを飲ませていた。

2025年8月11日18時過ぎ

初めてメイの乳首に赤ちゃんが吸いついている様子を確認。

首の筋肉が発達してきて届くようになり、以降母乳と人工ミルクを混ぜて与えていた。

無事に生まれたがメイは出産してから後産が出ない日々が続いた。1週間かかったが後産は自然に全部出してくれた。部屋はしばらく掃除ができなかったため、排泄物や出血でひどく汚れていた。8月13日に掃除した後、出産依頼横になって寝ていなかったメイが横になって寝る姿を確認した。

メイは小さい頃に母親とはぐれており、少なくとも国内に来てからは他個体が子育てしているところを見ていないため、育児しない可能性もあり、赤ちゃんの出産にあたって問題があったときのために何パターンか想定していたが、それもすべてクリアして今ではしっかりお母さんしてくれている。

2025年9月17日に一般公開開始。

赤ちゃんが産まれて1ヵ月は心配だったが順調に育っており、一般公開を開始することになった。

当面は13:30~14:30の1時間展示場に出し、立ち止まらずに観覧する形になる。

(記録:T)



みんなでガイドレポート10月



みんなでガイド ①

日 時：10月5日(日) 1:30~3:00 (その後振返り)

天 気：晴れ

解説動物：クロサイ (A・M)、シフゾウ：西園入口 (O)、記録 (T)



メイちゃん親子の公開にこの日も多くのお客さんが並ばれていました。聞くと1600人の列ができたとか。

ゾウにお客を取られて(笑)人が少なかったけど、待つ間に列から離れて話をきいてくれる高校生もいた。



角を持って行くと持ったり、写真を撮ったり興味を持ってくれる。閉鎖中だけど、西園アピールできた。



列がクロサイ前まで来た何組かのお客さんに話した。興味を持った人をつかまえて、せっかくなので待っている人に楽しんでもらった。

みんなでガイド ②

日 時：10月19日(日) 10:00~12:00 (振返り含む)

天 気：晴れ

解説動物：シフゾウ：(O)、キツネ・タヌキ (C)、スイギュウ (KI)、ラクダ (Y)

キリン・ヒツジ (S)、チンパンジー (I)、ブラックバック (I)、記録：(S・T)



I：食事タイムに合わせて9時までに来たかったが、準備に手間取って食事タイム終了。終わると上の方に上がってしまうので、お客さんに分かりにくい。季節の物、どんぐりや木の実や木の葉を食べているようだ。まだ個体を見分けられないのであまり詳しくはしゃべれなかった。

C：退屈せん程度にはしゃべれた。骨(頭骨)の威力。(キツネ・ハクビシン・タヌキ・アナグマ4種の頭骨) どの骨が誰の?クイズ。よく考えてくれた。食べ物で骨格の特徴がわかる。

○：＜西園入口に写真や角を展示しながら＞角にみなさん興味津々。「西園が開いたらまた来ます」と言われた。レッサーパンダとかも西園入口で一緒にやったらええよ。

Ｙ：今日はフウコちゃんがエサを食べるために歩いていた。頭骨を展示していたら小さい子が触ってくれた。



Ｋ：家族連れもすごく多い。お客さんが来られた時にタイミングよくプールの横を通って近づいてきた。男の子に「２頭のどちらが強いの？」と聞かれた。お父さんが助け舟をだしてくれた。

Ｉ：雌たちが気まぐれで、出たり入ったりして、途中で雌が放飼場にゼロになった。「インスタでみたけど赤ちゃんはどこ？」「赤ちゃんはいつ生まれたの？」「雄の角がかっこいい」「角が芸術的！」いろいろな反応がうれしい。今度は頭骨（角）も用意したい。

11月16日(日)の「ぴーちくパークツアーガイド」について

案内動物・・・①ポニー（Ｔ・Ｋ） ②ヒツジ・ヤギ（Ｓ・Ｉ・Ｎ）

③ペンギン（Ｆ・Ｓ・Ｓ）

募集人数・・・15人×2組 A1組目10：00出発 B2組目10：30出発

係担当者・・・引率 A（Ｍ・Ｈ）、B（Ｏ・Ａ）

呼び込み（Ｄ・Ｃ・Ｏ）…9：30よりぴーちく近辺で

受付（Ｈ・Ｉ）…ぴーちく入口で

ゴール…プレゼント渡し（Ｄ・Ｃ）…ぴーちく入口で

答え合わせ…（Ｏ）

※準備のため9時15分にボラ室集合をお願いします。

※まだ足りてない所もあるので当日参加できるボラの方お手伝いをお願いします。

ボランティアのみなさまへ

12月14日(日) 宮島水族館への園外研修 多数のご参加をお待ちしています。

12月21日(日) 忘年会 わいわい楽しかった1年を振り返りましょう。

作業ボランティアのみなさまへ

11月

①11月1日(第1土曜日) ②11月8日(第2土曜日)

③11月15日(第3土曜日) ④11月22日(第4土曜日)

11月は園内の花壇ほとんど全てにパンジーの植替えを予定しています。毎週の活動になりますが、参加のほどよろしくお願いします。

12月

①12月6日(第1土曜日) ②12月20日(第3土曜日)

師走の何かと気忙しい時ですが、園内の花壇を整えて、新しい年を迎えたいと思います。

ガイドボランティアのみなさまへ

11月

11月2日(日) みんなでガイド、ツアーガイドに向けて準備、役割分担打ち合わせ等

11月16日(日) ガイドボラによる「**ツアーガイド**」…9時15分集合、10時スタート

★初めてのピーちくパークでの「ツアーガイド」をみんなで盛り上げましょう。参加をよろしくおねがいします。

12月

12月 7日(日)10:00～ 連絡会と研修会 13:30～ みんなでガイド①

★研修会で飼育係から聞きたいテーマが有りましたらお知らせください。

12月14日(日)ボランティア合同園外研修「みやじま水族館」



ひっじ村から・・・

絶賛村民募集中！

毎月第4週に安佐動物公園のどこかで開村！

ピーちくパークで暮らすヒツジにもらった羊毛を洗う、解す、染めるなど、おしゃべりしながら可か

作品を作ってみようという村です。グループを問わず通りすがりの見学だけでもOKです

活動報告

9月28日(日) 曇り時々小雨 会場(ピーちくパーク内の2階)

- ① ピーちくパークの裏でビワの葉の発酵を待ちましたがそれを鍋にかけ煮出す(30分)
ビワの葉は一旦取り出し染液を2つに分ける
- ② 媒染液として鉄と銅をそれぞれの染液に入れ羊の洗って乾かした毛を2つに分けそれぞれの染液に入れる
- ③ 再び沸騰後弱火で30分煮てそのまま放置する事1週間 本当はこんなに置く必要はない



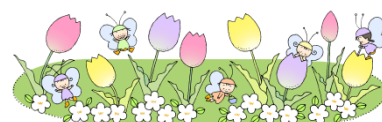
右が媒染液 鉄

左が 銅

中島さんが持ち帰ってすすいで乾かしてくださる



作業ボラ報告書



2025年9月6日 晴れ 参加人数13名

園より

空調ベストは既に品切れでした 代わりに大型ファンを2機購入本日から利用可能です

①パンジーの種まき

種まきトレイに4筋蒔いていく 黒墨さんが蒔く道具カリカリくんを紹介される
赤・紫・黄色のうち黄色の種の数が少ない

②腐葉土をかき混ぜる



ハウスに向かってファンを回す事はネズミがコードをかじるなど危険であるため不可能
鹿の侵入を防ぎつつハウスのサイドのビニールを巻き上げておく

☆作業後のミーティング

- ・ 沖土居さんが作成された作業の進め方を記した書類ができましたので次回には配布します
作業前に読むようにしてください

2025年9月20日(土) 曇り 参加人数19名

①ノースポールの種まき (育苗箱にすじ播きする)

②ピーちくパーク内のわんぱく砦の階段に設置されているプランターをマリーゴールドに植替え

既にプランターは園のスタッフさんにより下ろされていた 雨水が溜まる場所のプランターの

ジニアプロフェュジョンが枯れており水はけが極端に悪い所がある旨は園のスタッフさんに連絡済ということでスタッフさんが子供たちにも安全のように設置してくださるはず

③園内整備 (水やり当番2人で大まかに花摘み雑草取りをする(午後から雨予報もあり最近の雨で水やりすべき所は全て湿っていたため))

☆作業後のミーティング

- ・ ハウスに最高最低温度計が設置されました
- ・ ハウスのパンジーの育苗箱が天井の穴が開いた部分の下で先日の大雨のせいで2箱ひっくり返っていた
- ・ 次回パンジーをポット上げするには早いため第2週を



予備の作業日とする

2025年10月5日(土) 曇り時々雨 時に雷雨予報のため中止

2025年10月11日(土) 晴れ 予備日 参加人数12名

①パンジーのポット上げ

注意 双葉は埋めないように丁寧に

黄色(一番発芽が良いため小さい物も)全てポット上げ

赤(発芽が悪いケース有り)半分ポット上げ



思いの外裂けたハウスの天井
冬に向けて修理が必要

時間の関係もあり作業後のミーティングなし

2025年10月19日 晴れ時々曇り 参加人数17名

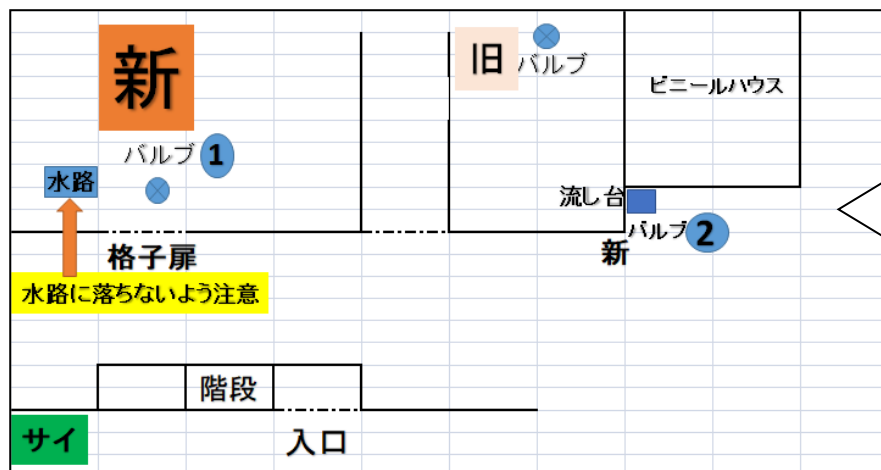
①先週に引き続いてパンジーのポット上げ

②水やり担当者(沖土居・生田) 水やりの時に気づいた事の対策をする

エントランスやヒビ山前花壇のニチニチソウが色が悪く花も小さくなっている→液肥を与える
ピーちくパークのマリーゴールドが倒れている→竹の支柱を立てたり太い針金をU字に曲げて支えにするなどできる対策をする

☆作業後の連絡事項

- ・ハウスの水道の元栓を移動したことの説明が有る
- ・11月のパンジーの定植などは一機に行いたいので毎週土曜日に活動したいのでよろしくお願いします



渋川さんから届いた新バブルの位置の図です。水路にも蓋を置いてくださっていますが、気を付けましょう。

(記録:I)

動物園ニュース

▶マルミミゾウの愛称が決定(10/25)

令和7年8月5日(火)に国内で初めて誕生したマルミミゾウの愛称を9月17日(水)から10月10日(金)まで募集し、選考の結果、このたび愛称が「アオ」に決定しました。応募総数は10,458票、応募のあった名称は2702種類に上ります。今後とも「アオ」の成長を見守っていただけますと幸いです。



▶国内の鳥インフルエンザの発生に伴い鳥類の展示を中止(10/17、10/24)

2025年10月17日に環境省の鳥インフルエンザ警戒レベルが2(国内単発発生時)に引き上げられたのを受け、大鳥舎及びピーちくパーク内のことりの家の入場を中止、10月24日に環境省の鳥インフルエンザ警戒レベルが3(国内複数箇所発生時)に引き上げられたのを受け、三井のリハウスピーちくパーク内の大型インコの展示を中止しました。

★お手伝いいただける方を募集します★

安佐動物公園では以下のイベントを予定しております。お手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、参加確認(はがき or メール)にてその旨をご連絡ください。

【イベント名】

おはなしサタデー

【お手伝い内容】

イベント参加者の招集、参加整理券回収、最後尾から参加者の監視

【日程】

毎週土曜日 時間帯、動物種は動物園 HP([トップページ](#)>[お知らせ・イベント](#)>[飼育係とおはなしサタデー](#))に掲載。

※定員が「なし」の場所については「動物解説グループ」、「作業グループ」どちらもお手伝いいただけます。

※定員が「●人」となっている場所については、「動物解説グループ」の方のみお手伝いいただけます。

※募集人員が少ないので、ハガキでは募集しません。メールか電話でご連絡ください。

※初回の方は企画広報係が同行します。注意事項などは当日お伝えします。

令和7年度 ZOO & ボラ予定表（2025年11月1日～11月30日）

月日			安佐ZOO		ZOOボラ	
			イベント	おはなしサタデー	解 説	作 業
11	1	土				活動日
	2	日			みんなでガイドの日	
	3	月	文化の日（入園料無料）		<div> 9:45 ボラ室集合 10:00～ スポットガイド その後 反省会 </div>	
	4	火				
	5	水				
	6	木	休園日			
	7	金				
	8	土	サンちゃんの日消防隊長			活動日
	9	日				
	10	月				
	11	火				
	12	水				
	13	木	休園日			
	14	金				
	15	土				活動日
	16	日			イベント ツアーガイド	
	17	月			<div> 9:15～ 集合ボラ室 10:00～ ガイドツアー① ② その後 反省会 </div>	
	18	火				
	19	水				
	20	木	休園日			
	21	金				
	22	土	サンちゃんデー～オオサンショウウオを知ろう～			活動日
	23	日	SDGsクイズ大会（勤労感謝の日）			
	24	月				
	25	火				
	26	水				
	27	木	休園日			
	28	金				
	29	土				
	30	日				

☆ この予定は「ずうぼらだより」発送時の予定です。変更される場合もありますので、活動時などには確認してください。

★ ることもあります。詳しくはその都度確認ください。

令和7年度 ZOO& ボラ予定表（2025年12月1日～12月31日）

月日			安佐ZOO		ZOOボラ	
			イベント	おはなしサタデー	解 説	作 業
12	1	月				
	2	火				
	3	水				
	4	木	休園日			
	5	金				
	6	土	ポニーと記念撮影			活動日
	7	日			ボラ連絡会	
	8	月			10:00～ 動物科学館2階 午後 みんなでガイド	
	9	火				
	10	水				
	11	木				
	12	金	休園日			
	13	土	フェルトでゆきだるま			
	14	日			園外研修「みやじま水族館」	
	15	月				
	16	火				
	17	水				
	18	木	休園日			
	19	金				
	20	土				活動日
	21	日			2025 忘年会	
	22	月				
	23	火				
	24	水				
	25	木	休園日			
	26	金				
	27	土				
	28	日				
	29	月	休園日			
	30	火	休園日			
	31	水	休園日			

☆ この予定は「ずうばらだより」発送時の予定です。変更される場合もありますので、活動時などには確認してください。

★ ることもあります。詳しくはその都度確認ください。